

鎌倉・室町・戦国・江戸時代

江井島のできごと

鎌倉時代

1213年(建保元)

重聖上人が魚住泊を修理

1226年(太治26)

如法寺 西海和泉守有利が氏寺として創建

須恵器の制作(魚住古窯群赤根川支群)

1289年(正応2)

性海上人が魚住泊を修理

室町時代

1453年(享徳2)

頌栄順公が長楽寺再興

戦国時代

1572年(元龜3)

定善寺本堂再建

1578年(天正6)

羽柴秀吉の三木攻めに対し、毛利の軍勢と兵糧を陸揚げする
拠点として魚住頼治が魚住城を築城

〈魚住城と三木合戦〉

三木城主の別所長治は明石を含む東播8郡の領主であり、多くの寺院や人々が影響下にあった。

魚住頼治は三木城の別所長治から「治」の偏諱を賜る関係であった。中国地方を平定しようとした織田信長の命令を受けた羽柴秀吉は毛利輝元の味方をして、別所長治の居城の三木城を攻め、三木合戦が始まった天正6年(1578)に魚住頼治は西島の小高い所に新しい城を建てて支援をする。

天正7年(1579)9月10日に毛利方の援軍が、魚住泊に兵船200隻を停泊、上陸した。これに対して秀吉側は魚住泊から三木に至る道路を遮断、双方に壮烈な戦闘が行われ、天正8年(1580)1月17日に三木城は落城した。秀吉勢は魚住城を攻め、西島の総代であったト部安知が捕えられる。天正8年(1580)2月15日に馬石の岡で磔となった。

1580年(天正8)

1月8日魚住城落城、2月15日ト部安知(西島庄屋)責任者として処刑

1596年~1615年

「播磨国総図」には東江井村・江井村の名がある

江戸時代

ト部家 西島村に復帰

1679年(延宝7)

ト部家 酒50石製造していた

1716年~1736年

地誌「明石記」には魚住庄の中に東嶋村・西嶋村・東江井村・西江井村が記されている

1720年(享保5)

「明石市都市景観形成重要建築物」指定のト部邸建築

うらべ 〈ト部邸〉

祖先は江井島で酒造りを始めた旧家。享保5年(1720)に建築された主屋と18世紀に建築されたと推測される前蔵や酒蔵が現存している。

平成13年(2001)に「明石市都市景観形成重要建築物」指定。



〈如法寺〉

高野山真言宗で本尊は大日如来。山号は密厳山。大治(だいじ、たいじとも)年中(1126~31)に西海和泉守有利(にしうみずみのかみありとし)が氏寺として創建。

「三木合戦(天正6~8年・1578~80)で別所方に味方したことで豊臣秀吉によって焼失したが再建。

境内の聖天堂は四世の寂道真源法師が文化年間(1804~14)に建立。聖天堂には聖天(歓喜天)が祀られ土地の字名にちなみ「森の聖天さん」として親しまれている。

毎年4月第1日曜日に「森聖天歓喜天祭」を催し、檀家関係者がお祈りをする。



日本のできごと

《室町時代》

1333年(元弘3)

●足利尊氏が鎌倉幕府を滅ぼす

1338年(歴応元)

●室町幕府の成立

1467年(応仁元)

●応仁の乱

《戦国時代》

1543年(天文12)

●鉄砲の伝来

1549年(天文18)

●キリスト教の伝来

●南蛮貿易が行なわれる

1577年(天正5)

●信長が安土城下で楽市楽座の政策

1582年(天正10)

●本能寺の変・太閤検地

1585年(天正13)

●秀吉関白となる

1588年(天正16)

●刀狩

1600年(慶長5)

●関ヶ原の戦い

《江戸時代》

1603年(慶長8)

●江戸幕府の成立

1614年(慶長19)

●大阪冬の陣

1615年(元和元)

●大坂夏の陣(豊臣氏滅亡)

1722年(享保7)

●新田の開発

